

○シーボルト(1796—1866)

ドイツの医師。博物学者。

文政6年(1823年)長崎出島のオランダ商館医として来日。鳴滝塾などで医学、博物学をおしえ、日本の洋学発展につくす。11年(1828年)国禁の地図の海外持ち出しが発覚し、国外追放となる。帰国後「日本」「日本植物誌」などをあらわす。安政6年再来日。長男、次男ものちに日本で外交官として活躍。1866年10月18日死去。70歳。

オランダ商館の一員として長崎出島と江戸を行き来する際、関宿にてオオサンショウウオを購入したとされている。オランダに持ち帰られたオオサンショウウオはアムステルダム動物園で51年にもわたって飼育されたと言われている。

参考 講談社日本人名大辞典 講談社 2001年

オランダ商館日記 10 日蘭学会/編 日蘭交渉史研究会/訳注 雄末堂出版 1999年